

セーフティかながわユースカレッジ

神奈川県安全防災局安全防災部くらし安全交通課 黒須 智紀

セーフティかながわユースカレッジは、主に神奈川県内の大学・高等学校で防犯活動に関心のある学生・生徒を対象に神奈川県警察の協力を得て開催しているもので、平成23年度からスタートした事業である。年3回開催している研修会では、防犯ボランティア活動に取り組む学生・生徒へ、防犯対策についての講義や意見交換などを実施し、見識を深めてもらっている。本稿では、若い世代による防犯活動の促進となるこのユースカレッジの取り組みを紹介する。

1. 開催の経緯

平成17年に「神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり条例」が施行され、地域の防犯を担う自主防犯活動団体が急増した。しかし一方で、自主防犯活動団体では構成員の高齢化や固定化が課題となってきた。こうした中で、次の世代を担う若者の防犯活動に対する関心を高めるとともに、知識・技能の向上を図り、大学生・高校生など若い力による自主防犯活動への参加促進を図るため、平成23年度に研修会を、さらに平成24年度には出前型講座をスタートした。

研修会は、平成23・24年度は年2回、平成25年度からは年3回開催している。平成26年度からは「ユースカレッジ学生・生徒企画会議」を設置し、委員の学生・生徒たちが同世代に向けた研修会を企画している。

2. 出前型講座

学校や学生の要望にきめ細かく対応するため、学校等の希望に応じた防犯に関する知識や防犯寸劇の実施方法等について、くらし安全交通課の職員が赴き、講話や指導助言を行っている。

3. ユースカレッジ学生・生徒企画会議

ユースカレッジに関して、大学生・高校生など若い世代の視点から企画への提案や運営への参画等を進めるとともに、将来的に学生主体の運営へ繋げることを目的として平成26年度に設置した。

平成28年度は3つの大学より4名、2つの

高等学校より4名の計8名が企画会議委員として活動し、4月から7回の企画会議を開催して研修会の内容を企画した。



企画会議の様子

4. 平成28年度研修会

(1) 第1回開催概要

6月19日(日)13時20分～16時20分、横浜市開港記念会館にて開催。防犯ボランティア活動を始めた学生・生徒向けとして、防犯ボランティア活動を行ううえでのコツなどについて専門家による講義を行った。参加校数は大学7校、高等学校8校。参加者数は78人。



パトロールに必要な「距離感」を学ぶ

(2)第2回開催概要

9月4日(日)13時20分～16時20分、横浜市技能文化会館にて開催。企画会議の委員からサイバー防犯に関する知識を深めたいと意見があり、県内でサイバー防犯ボランティア活動に取り組んでいる大学および高等学校の生徒が実践報告をした。またインターネット利用で陥りやすい犯罪について、県警察本部サイバー犯罪対策課による講話の後、意見交換を行った。学生・生徒が運営。参加校数は大学6校、高等学校6校。参加者数は54人。



ネット利用についての意識確認



意見交換の様子

(3)第3回開催概要

12月23日(金・祝)13時20分～16時20分、かながわ県民センターにて開催。今回は、企画から運営まで全てユースカレッジ学生・生徒企画会議によるもの。同世代が巻き込まれやすいトラブルについてクイズを作成し実演した。



グループワークを交えた研修の様子

また、悪質商法等について見識を深めたいとの企画会議の意見により、専門家による講義と参加者による意見交換を行った。参加校数は大学5校、高等学校5校。参加者数は39人。



参加者による寸劇での事例検討

(4)参加者の感想

- ・普段は詳しくボランティアやパトロールについて考えていなかったが、こういう機会があると、改めて自分もちゃんとしなければと思うことができ、参加してよかった。
- ・防犯ボランティアの体験では、実際に自分がやってみることで、人に伝えることができるんだと実感した。
- ・ボランティア団体の活動がとても大きな成果をあげていることに驚いた。
- ・自分たちの力が必要とされていることを聞いて、協力していきたいと思った。等

5. 最後に

今後のユースカレッジについては、若者の希望や視点をより積極的に汲み上げていき、防犯パトロールなどはもとより、サイバー犯罪やSNSに潜む問題等、若い世代の身近な問題を通じ、防犯活動の若い世代への浸透と意識啓発の拡大を目指し、さらに力を入れて取り組んでいきたい。